

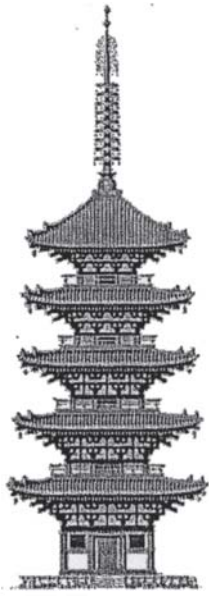
弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちわ。今日は
ご祥当 弘法大師の年命日です。
 ご祥当が来るといよいよ春本番
 ですね。
 さて、**お釈迦様の生涯**をお伝
 えしている今年のかわら版。今
 月はお釈迦様の妻、**ヤシヨード
 ラー**と、お釈迦様の出家にまつ
 わる**四門出遊**のお話です。

★**ヤシヨードラー**

シュークヤ国の王子であるお
 釈迦様。長じてこの**世の無常**を
 考へてもの思いにふける青年に
 育ちました。

「王子は出家して悟りを開く
 か、王位を継いで**転輪聖王**(て
んりんじょうおう)になる」と
 いう**アシタ仙人**の予言を聞いた
 父、**シュッドーナ王**。王子が
 出家するのではないかと心配し

ていました。
 王子に早く王位を継がせたい
 シュッドーナ王。そこで、王
 位継承に備えてお釈迦様に結婚
 を勧めました。時にお釈迦様は
十六歳。
 王子は一週間ほど熟慮の末、
 父の勧めを受け入れました。妃
 の名は**ヤシヨードラー**。美しく
 優しい妃だったと言われていま
 す。

★**ラーフラ**

「人はなぜ生まれ、老い、病
 に倒れ、死んでいくのか」。瞑
 想にふけるお釈迦様の日常は変
 わりませんでした。結婚生活
 は平穏でした。
 やがて、ヤシヨードラーが男
 児を出産。これでお釈迦様の出
 家の心配もなくなるかと喜んだ
 シュッドーナ王の期待に反し、
 お釈迦様は「**ラーフラ**が生まれ
 た」とつぶやいたそうです。
 ラーフラとは「**妨げ**」という
 意味。この世の無常を悟るため
 に瞑想にふけるお釈迦様にとつ

て、愛するわが子の誕生は心が
 揺らぐ原因になると感じていま
 した。そのことが「ラーフラが
 生まれた」というつぶやきにつ
 ながったようです。
 このことから、男の子はラー
 フラと名づけられました。何だ
 かかわいそうな気もしますが、
 それだけお釈迦様の愛情が深
 かったということでしょう。

★ 四門出遊

お釈迦様のことを案じたシュ
 ッドーナ王。ある時、お釈迦
 様に気分転換のために散策に出
 ることを勧めたそうです。

さて、お釈迦様が**カピラ城**の
東門から散策に出かけると、息
 も絶え絶えの老人に遭遇。「人
 はなぜ**老**いるのか」。お釈迦様
 は沈痛な気持ちになり、カピラ



画面右よりが王子、左端に横たわる死者が見える。
「ボロブドゥール遺跡のレリーフ」

城に引き返しました。
 次に**南門**から外出。すると今
 度は道端で苦しむ病人に遭遇。
 「人はなぜ**病**に倒れるのか」。
 お釈迦様は再び重い気持ちに
 なって城に戻りました。

しばらくして**西門**から外出す
 ると、葬列とすれ違いました。
 「人はなぜ**死**を避けることがで
 きないのか」。お釈迦様はこの
 世の無常に心を痛めて、三たび
 城に引き返しました。

そして最後に**北門**から出かけ
 ようとすると、ひとりの**シュラ
 マナ**沙門(しゃもん)が歩い
 ていました。その姿は堂々とし
 て光り輝き、この世の無常を達
 観しているようでした。

「あの沙門のように俗世を離
 れて修行を積み、人の生老病死
 の運命、この世の無常を感得し
 たい」。お釈迦様の頭に「出
 家」という二文字が浮かびまし
 た。

この出来事を**四門出遊**と言
 います。お釈迦様が出家する契機
 となった逸話です。

★ 出家と三人の師

さて、お釈迦様はいよいよ**出
 家**を決断します。来月はお釈迦
 様の出家と**三人の師**との出会い
 です。乞うご期待。

